



地元中心に話題 川越八幡宮、桃が御神木に 古事記でも鬼女退散

させた桃「古代からの力感じて」

2018年9月27日(木)



川越市南通町の川越八幡宮で祭られる御神木「厄除桃」

川越市南通町の川越八幡宮（榊原茂宮司）で、邪気をはらう力があると考えられてきた桃が御神木「厄除桃」として祭られ、地元を中心に話題を呼んでいる。

御神木が祭られたのは2年ほど前。桃も邪気の侵入を防ぎ、厄よけの力があることを知ってもらいたいと、祭り始めた。桃については「古事記」にも伊弉諾尊（イザナギノミコト）が桃を投げつけて、鬼女を退散させたという記載がある。

同神社禰宜の榊原祥光さんは「ヒイラギが邪気の侵入を防ぐのは知られていますが、桃も負けず劣らず、桃太郎の鬼退治の例のように、厄よけの力があると言われています。お参りされて、古代からの力を感じてはいかがでしょうか」と話している。